2021年7月

思いつめずに、いっしょに話そう!!

社会福祉法人

香川いのちの電話 通信

第79号

相談電話 みみをかたむけなやみゼロ 087-833-7830
FAX相談 むつんでいちばんしみじみ 087-861-4343
（24時間年中無休）



女木沖　写真提供 宮武則明

時間について

高松大学名誉教授　臨床心理士　田中　良子

「もう6月ですよ、速いですね」。恒例の年間行事に向かうタクシーの中で運転手さんに声をかけられた。時が経つのを速いと感じるか、遅いと感じるかはまさに時と場合による。時間は目には見えないが確実に過ぎ去り、そして積み重なって、目にも見えるようになる。その日は晴れていて、山笑う季節だった。正月とは山の姿も変わっているのだ。

運転手さんとの日常会話はそこまでで、彼の思いにかかわることはなかったが、私には少し尾を引いた。

「20歳の時、どんな望みがありましたか?」と問われて、「はやく40歳になりたいと思っていました」と応えた記憶がある。道に迷っているばかりの青春時代を抜けだして自己を確立しているように思われた、当時憧れていた40代の女性の姿があった。

日本の平均寿命が80歳代で安定した頃、それを1日24時間の時計に置き換えてみるようになった。誕生が午前0時、20歳が朝の6時、40歳は昼の12時となる。50歳は午後の3時、還暦の60歳は午後6時、深夜の零時が80歳で、その後は翌日だ。

大学生達とは「あなたたちはまだ朝ご飯前」と笑い、未来の長さを語りあった。「私はランチタイムだ」と40歳を告げられたこともある。50歳は午後3時のおやつタイム、70歳は夜の9時、ほっと一息というところか。

近年、人生100年時代といわれるようになった。還暦に加えて、大還暦120歳という言葉も聞く。1日24時間の時計をさらに進めると、次の日の朝6時が100歳となる。百寿の方々は翌日の日の出を迎えられる。大還暦120歳は翌日のランチを楽しまれる。

厚生労働省（2020.9）によると、100歳以上の人口は統計を取り始めた1963年では全国で153人、2020年では前年より9176人増して、初めて8万人を越え80,450人になった。爆増は明らかで、長寿は他人事ではない。

一人ひとりの人生の長さは、人事の外だろう。だが、自分が物心ついた頃の人生の長さは、現在とは大きく変化している。生きる根幹の長さという時間についてあらためて考えさせられた。

人は死に際して、「人間とは、お金とは、時間とは、についてその人としての哲学を持つ」という言葉がある。援助者が自分自身である程度に応じて、他者の助けとなりうるのだともいわれる。真理を知るという希望に向かって、薄紙を重ねるように進んでいきたい。

令和２年次　香川いのちの電話　受信・相談状況

（2020年1月1日～2020年12月31日）

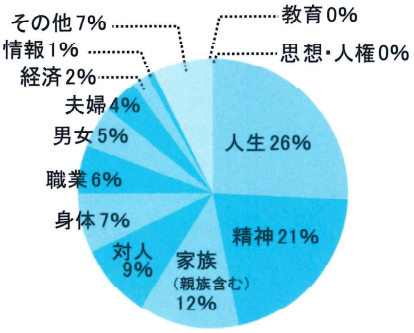
相談総件数……8,226件（男性4,295件、女性3,931件）
自殺を訴えた相談件数…1,270件（男性605件、女性665件）

受信総件数……9,832件（無言で切れた件含む）
着信（話中）件数……139,986件（受信したが話中で繋がらなかった件数）

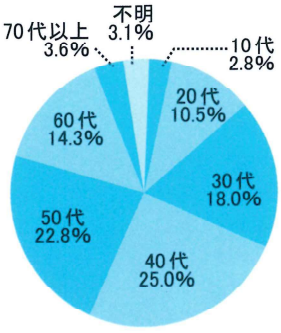
開局からの電話受信・相談状況
（1984年10月6日～2020年12月31日）
受信総件数…480,851件
相談総件数…351,471件

●香川いのちの電話　受信状況

【内容別相談件数】

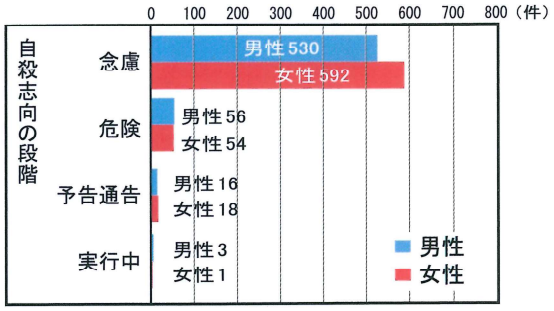


【年代別相談件数】

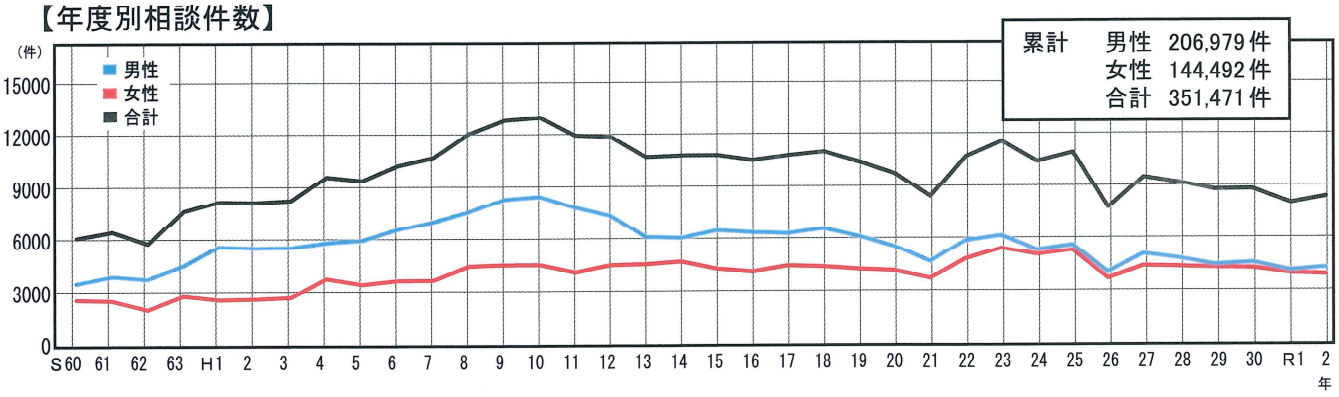


【自殺志向段階別相談件数】

自殺志向の総数を段階別に集計



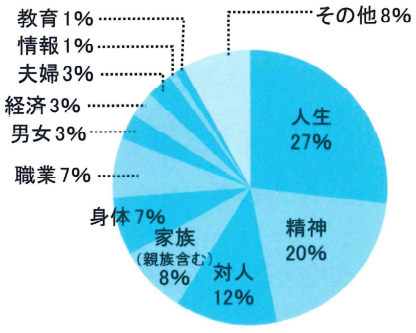
【年度別相談件数】



●自殺予防いのちの電話　受信状況（毎月10日のフリーダイヤル　受信状況）

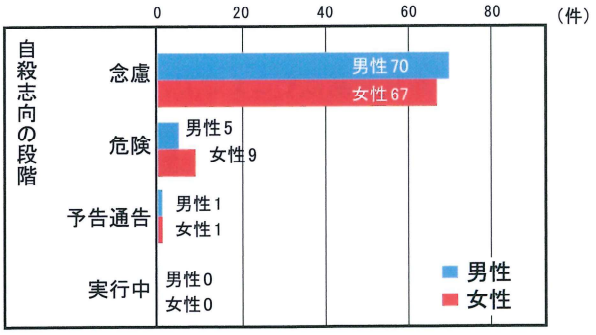
相談総件数……755件（男性398件　女性357件）
自殺を訴えた相談件数…153件（男性76件、女性77件）

【内容別相談件数】



【自殺志向段階別相談件数】

自殺志向の総数を段階別に集計



●コロナ禍対応電話相談　2020年3月頃から、コロナ禍が顕著になり、全国のいのちの電話相談においても、不安や状況確認や対応策等の相談事例が目立ってきました。又、各センターにおいて、相談活動の中断、短縮等の問題が持ち上がりました。当香川いのちの電話においても、その対応に苦慮しましたが、相談活動は中断せず継続して実施することになりました。又、6月20日からのコロナ禍対応特別フリーダイヤル活動に参加することとし、毎週月曜から金曜までの16時から21時まで特別フリーダイヤル受信を6月から12月まで、実施しました。
尚、昨年の3月から12月までのコロナ禍電話受信回数は426件でした。

令和２年度事業報告　（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

養成講座・研修活動

- 第38期電話相談員認定式
  令和３年3月19日　８名
- 第39期電話相談員養成講座
  開 講 式　令和２年6月20日
  養成講座　令和２年6月20日～令和3年３月27日
  修 了 式　令和3年3月27日
  修 了 者　12名
  聴講生コース　令和2年6月20日～11月
  受 講 者　８名
- 全体研修会（第１回全体研修）
  令和２年７月18日
  テーマ
  「香川いのちの電話について
  　バイザーと相談員で自由に語り合おう」
  講　師　研修委員長　河﨑敦子氏
- 全体研修会（第２回全体研修）
  令和２年10月３日
  テーマ　「いのちの電話の現状とこれから」
  講　師
  堀井　茂男氏（岡山いのちの電話協会会長）
- 全体研修会（第３回全体研修）
  令和３年２月13日
  テーマ　「香川いのちの電話の活性化」
  講　師　研修委員長　河﨑敦子氏

各種会議・委員会活動

- 理事会
  令和２年度事業報告、決算報告、
  令和３年度事業計画、予算審議等
  令和２年４月２日～　5回開催
- 評議員会
  令和２年度事業報告、決算報告、
  令和３年度事業計画、予算審議等
  令和２年6月19日～　2回開催
- 活性化委員会
  令和２年５月29日～　5回開催
- 班長会
  令和２年６月29日～令和３年２月18日まで　４回開催
- その他の委員会活動
  財務委員会、広報委員会、統計委員会
  担当委員会　（随時開催）
- 中・四国いのちの電話ブロック会議（Web会議）
  令和３年３月２日
  田中暉彦事務局長参加（香川）

実施中

いのちの電話

コロナ禍対応

電話相談フリーダイヤル

0120-783-556

思いつめずに、いっしょに話そう!!

【期間】2021年4月1日～2022年3月31日
【時間】16：00～20：00
月・火・木・金 曜日

資金収支計算書　（自）令和2年4月1日　（至）令和3年3月31日

（単位：円）

勘定科目			予算（A）	決算（B）	差異（A）－（B）
事業活動による収支	収入	事業収入	3,121,000	3,116,000	5,000
		負担金収入	300,000	390,000	△90,000
		経常経費寄附金収入	2,637,000	3,781,006	△1,144,006
		受取利息配当金収入	0	72	△72
		その他の収入			
		事業活動収入計（1）	6,058,000	7,287,078	△1,229,078
	支出	人件費支出	2,000,000	1,697,400	302,600
		事業費支出	1,944,000	2,216,741	△272,741
		事務費支出	2,114,000	1,959,660	154,340
		事業活動支出計（2）	6,058,000	5,873,801	184,199
		事業活動資金収支差額（3）＝（1）－（2）	0	1,413,277	△1,413,277
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計（4）	0	0	0
	支出	施設整備等支出計（5）	0	0	0
		施設整備等資金収支差額（6）＝（4）－（5）	0	0	0
その他の活動による収支	収入	その他の活動収入計（7）	0	0	0
	支出	その他の活動支出計（8）	0	0	0
		その他の活動資金収支差額（9）＝（7）－（8）	0	0	0
		予備費支出（10）	0	—	—
		当期資金収支差額合計（11）＝（3）＋（6）＋（9）－（10）	0	1,413,277	△1,413,277
		前期末支払資金残高（12）	0	8,008,686	△8,008,686
		当期末支払資金残高（11）＋（12）	0	9,421,963	△9,421,963

事業活動計算書　（自）令和2年4月1日　（至）令和3年3月31日

（単位：円）

勘定科目			当年度決算（A）	前年度決算（B）	増減（A）－（B）
サービス活動増減の部	収益	事業収益	3,116,000	3,142,000	△26,000
		負担金収益	390,000	315,000	75,000
		経常経費寄附金収益	3,781,006	2,975,564	805,442
		サービス活動収益計（1）	7,287,006	6,432,564	805,442
	費用	人件費	1,697,400	1,439,900	257,500
		事業費	2,216,741	2,227,468	△10,727
		事務費	1,959,660	2,132,244	△172,584
		減価償却費	590,625	590,625	0
		（国庫補助金等特別積立金取崩額）	△488,479	△488,479	0
		サービス活動費用計（2）	5,975,947	5,901,758	74,189
		サービス活動増減差額（3）＝（1）－（2）	1,311,059	530,806	780,253
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	72	60	12
		その他のサービス活動外収益	0	15,000	△15,000
		サービス活動外収益計（4）	72	15,060	△14,988
	費用	サービス活動外費用計（5）	0	0	0
		サービス活動外増減差額（6）＝（4）－（5）	72	15,060	△14,988
		経常増減差額（7）＝（3）＋（6）	1,311,131	545,866	765,265
特別増減の部	収益	特別収益計（8）	0	0	0
	費用	特別費用計（9）	0	0	0
		特別増減差額（10）＝（8）－（9）	0	0	0
		当期活動増減差額（11）＝（7）＋（10）	1,311,131	545,866	765,265
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額（12）	4,145,446	3,599,580	545,866
		当期末繰越活動増減差額（13）＝（11）＋（12）	5,456,577	4,145,446	1,311,131
		基本金取崩額（14）	0	0	0
		その他の積立金取崩額（15）	0	0	0
		その他の積立金積立額（16）	0	0	0
		次期繰越活動増減差額（17）＝（13）＋（14）＋（15）－（16）	5,456,577	4,145,446	1,311,131

貸借対照表　令和3年3月31日現在

（単位：円）

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	9,777,582	8,229,162	1,548,420	流動負債	355,619	220,476	135,143
固定資産	26,944,027	27,534,652	△590,625	固定負債	0	0	0
基本財産	26,944,025	27,534,650	△590,625	負債の部合計	355,619	220,476	135,143
その他の固定資産	2	2	0	純資産の部			
				基本金	29,490,268	29,490,268	0
				国庫補助金等特別積立金	1,419,145	1,907,624	△488,479
				次期繰越活動増減差額	5,456,577	4,145,446	1,311,131
				次期繰越活動増減差額	5,456,577	4,145,446	1,311,131
				（うち当期活動増減差額）	1,311,131	545,866	765,265
				純資産の部合計	36,365,990	35,543,338	822,652
資産の部合計	36,721,609	36,763,814	957,795	負債及び純資産の部合計	36,721,609	35,763,814	957,795

令和2年度社会福祉法人　香川いのちの電話協会の理事の業務執行及び法人の財産管理・業務執行状況ならびに会計に関する財産目録、貸借対照表および収支計算書については、関連する法令および通知に従った監査の結果、事業の運営および会計上、適法・正確に処理されているものと認めます。

監　事　大西　均
監　事　河村　弘子

わたしといのちの電話

相談員の声

ずいぶん、かけてくるコーラが変わってきているように感じている。

もちろん、コロナの影響もあるのだけれど、昔に比較して、ごく普通の人が気軽にかけてくるように思う。悩みもそんなに深いものではないもの（本人にとっては、深刻な悩みですが）が多いような気がする。これは、やはり、自殺対策のこともあっていのちの電話が広く社会の人に知られる存在になってきたこと。また、気軽に精神科（クリニック）に受診する雰囲気があること、また、電話対応も体制整備を行ってきたこと等これらの要因が背景にあると考えられる。

昔は、精神に悩みを持つ方が深夜にかけてきて、長時間、話をするということが多かったがもちろん、今でもそういう電話は多いと思われるが、私自身は体力もなくなり、深夜帯を担当することもなくなった今は、夕方の時間帯を担当している。

気軽にまるで、友達に電話するかのようにしてくるコーラが多い。状況は、喜ぶべきことなのだろうと思う。人はやはり一人では生きていけない存在である。たとえ、一人暮らしであっても人は、親や子供などの家族、そして友達、地域の人とかかわりをもって生きている。

そのような中で、いのちの電話の社会全体の認知力は高いものとなってきているのではないだろうか。

「いつ、どこでも、どのようなことでも、自分の気持ちを受けとめてもらえる人がいる」ということは、人が生きていくのに必要不可欠なものであると思う。しかし、家族を喪失した人、大切な配偶者、親、子供を亡くした人にはそうではない。人はそういう大切な人を亡くすと、自分自身が生きている意味を問い直されるのである。この困難な自分自身の再生の過程を経るには、時間を要し、その気持ちに向き合うことが必要であり、誰かに聞いてもらうことが、大切である。

いのちの電話相談は、掛け手の喪失感や、感情に敏感であり、そのことに対する深い洞察や掛け手のやるせない気持ちを受容する気持ちが、必要である。特に事故や病気等で突然、大切な人を亡くした人にとって、そのことを受けとめ、やり直していくのは、人生の残りをかけたある意味「闘い」でもある。このような人にこころから寄り添えるいのちの電話でありたいと思っており、自分もその中の一員で今後もありたいと思っている。

（相談員　K・I）

連絡くださったのがお世話になっているYさん、彼女から「あなたの事だから広報なんて読んだこと無いだろうけど、原稿をお願いしたいの」と言われ内心さすがYさん、お見通しだ！と参りながら、「広報くらい読んでます！」と見栄を張り、引き受けた。電話を切り、ふと、相談員になった頃を思い出す。当時の私は過食症で夜通し食べ続け、仕事も生活もままならない状態。このままなら入院？って時にDrから「いのちの電話」を紹介されたのだ。

「掛け手なら、まだしも受け手なんて出来る訳ないじゃん」とムカつく私に「夜中に電話取れば夜の過食は免れるかも」と、しれっと先生がフォローしてきた。

若かった私は、「先生、グッジョブ‼」と話に飛びつき、現在に至っている。安易な動機だったけど、今ではDrに感謝の気持ちでいっぱいだ。

相談員ポスターには「悩まないで！相談員があなたに寄り添います」と書かれてあった。先が見えない不安な深夜、コーラさんが私に寄り添って下さった。20年終わった今でも鮮明に思い出す。懐かしい当時も振り返るきっかけを下さったYさんや日々フォローしてくださる関係者の方に感謝しつつ、ブースに座らせて頂こうと少しだけ背筋を伸ばしてみた。

（相談員　K・K）

支援者を訪ねて 34

香川いのちの電話　第１期生相談員
本田　真知子 氏



今回は、香川いのちの電話の第1期生相談員として2018年3月まで、長くご活躍された本田真知子さんにお越しいただき、電話相談にまつわるご自身のご経験からならではの示唆に富むお話を聞かせていただきました。

―おはようございます。今日は、お忙しいところ、お越しいただきありがとうございます。本田さんは、相談員の第1期生で、この香川いのちの電話立ち上げの時から関わっていらっしゃるのですよね?

直後、立ち上げの役員というのではなく、第1期の相談員ということで応募しました。

―第1期の相談員という募集があったのですか?

はい、立ち上げとは関係なくて、新聞の小さな記事にいのちの電話養成講座生徒募集の研修の内容も載っていて、面白そうかなと思って応募したのです。

―本田さんが応募されたとき、1期生は何人くらいいらっしゃったのですか?

古い名簿を見てみたのですが、研修は110人前後で始まり、実習生となった時は100人少し切れるくらい。それから面接かなんかがあって、8，90人が実質、第1期生としてスタートしたと思います。

―そのスタート時点での相談員の方は、どういった方が多かったのですか?

様々ですね。看護師さんとして働いている方、施設で働いている方、専業主婦の方、教師の方も。

―その時も今と同様、何人かのグループ研修があって、バイザーは臨床心理士の先生方だったのですか?

はい、10人前後で10グループあったと思います。今は相談員よりも長い先生もいらっしゃいますね。

―本田さんは第1期生で、今年は第40期生の受講生を募集中ですから40年近くの本当に長い間、香川いのちの電話に関わって頂き、ありがとうございました。

長い間と言っても、関わっていた間に父母の看取りもありましたし、休務もぽつぽつと多かったりして、それでも止めなかったのが不思議で。2、3ヶ月ほど休務させていただいて、また行こうかなと復帰するということも何度もあり、通算ではもう少し少ないかと思っています。

―途中でご事情から休務ということもありながらも、ずっと続けられたというのは、それはどうしてだったのでしょうか?

あまりよく分からないけど、なんか自分の勉強になるようなことが、あったのでしょうかねえ。プラスになってもマイナスになるようなことはない。怒られても、そんなに落ち込んだりして止めようかなということはなかったですから。

―現在、ここでも休務者への対応が課題なのですが、本田さんが休務しながらも続けられたというのは、ご自身の続けようという相談員としての意識の高さかなと思ったのですが。

やっぱりグループの熱意というか、休んでいたらちょっと連絡してあげようとか。また、事務所で「今日はこんな相談があって」と、息を抜いて帰れる、そんなことが良かったのではと思います。

いつもではないですが、昔はね相談員同士で喧々諤々の時もあったのですよ。研修会でも「こんなのではダメだ」とか、「こうした方がよいのでは?」と、結構、キッチリ言うこともありましたよ。なあなあの馴れ合いでは、褒め合いだけでは楽だけど成長しないですしね。で、少し変な方向に行くようになるとバイザーの先生が間に入ってまとめて下さったら、一番理想的な形かなと思いますけどね。

―そういう班研修を経験された本田さんは、おやめになる前の班研修をどんな風に見られていましたか?

最初の頃はやっぱり一生懸命で熱心でね、1期だから先輩もいないし、積極的にいろんな意見を言ったり、言われたりしてました。その場だけに収める、研修の場だけに収めて、なるべく率直に意見を言い合うのでないと成長は無いと。みんな褒められたら嬉しいのだけど、褒められるだけでは成長しない。厳しさも必要。

今は相談員同士でもあまり親しくないと、率直に意見を言ってお互いに傷付くのではという気遣いもあるかもしれませんね。

―本田さんから見て、立ち上げ当初の相談員と最近の相談員とでの変化を感じますか?

最初からうまく相談出来てという相談員はいないですよね。やはりある程度年数を重ねて、苦しんで、相談者からおこられて電話を切られたりして、そんな繰り返しを重ねていくしかないなと、そうしてもうちょっとやってみようかと続けて来たように思います。

電話相談の一番の基本の「傾聴・共感・受容」は変わらないと思いますし、一番難しいと思います。「傾聴に始まり、傾聴に終わる」と。どんなに腹を立てた

相談者でもじっくりと聞いてもらえたら、聞いてもらえたというそれだけで気持ちが落ち着くのではと思います。傾聴していたら、難しいことだけど相談者も気持ちをオープンにして下さり、じっくり聞いていると心を開いてくれることもあります。相談電話を聞いて終わりにありがとうございますと言われることもあるし、また怒られたということもあり、ある程度回数をこなしていく、一つ一つの積み重ね、経験の積み重ねですね。

―長い相談活動の中で印象に残る電話はどんな相談でしたか?

難しい電話はたくさんありましたが、これはやめる少し前の電話なのですが、「今から死にます」という電話でした。深刻な内容で辛かったのでしょうねえ、相談者の方が泣いてねえ。否定しないで30分程聞きました。終わりの方は「死にたいとはもう言いません」と言われて、元気でいて下さることを祈っていますと終わりました。この電話よりも苦しい電話はたくさんありました。

―相談員をやめようと思われたのは、それはどうしてですか?

電話担当に来るまでの交通の便が厳しくなったことです。若い時は何でもなかったのですが、高齢になると、駐車場を探すのも大変で、担当に入る前にエネルギーを使い果たしてしまうようで。運転が危なくなったらやめた方が良いと思っていました。こういうことでやめるとは思ってなかったです。担当に入って座って聞くことだけならもう少し出来るかなと思っていましたから。

―やめられた後、心は残っていません?

何も知らない人間が電話をいっぱい聞いて、普通の生活をしていては知らないことを知って、世間を広げてもらったと思います。相談者の方が気持ちを広げて下さったという想いもあります。時々、思い出すことはあります。

―今の香川いのちの電話に対しての想いをお聞かせ下さい。

継続してやること。家庭のこと、自身の健康など色々ありますが、まず継続すること。継続していると何か見えるかもしれない。続けることだと思います。

電話相談の最初の頃は、性的なきわどい電話がきつかったです。そういう電話を聞くのが嫌で続けられなくて止めた相談員も多かったです。その頃は自分から切ってはいけない、なるべく聞きましょうと言われていたのです。今では方針がそういう電話は切りましょうに変わり、大分楽になりましたね。全体の方針、ルールを守り続けることも大事ですね。

―相談員を退かれて、今はどう過ごされていますか?

趣味の物を色々と。同好会とか。牟礼で出掛けることもありますし。いのちの電話は私の色々ある中の大きな一つです。長い間相談員をさせてもらったから、お陰で成長させてもらい、無駄でなく、良い経験をさせて貰ったという想いがあります。こんな人も、こんなこともあるのかと思って電話を聞いてきましたが、いつか自分の立場が変わり、相談者の立場になりうるという想いにもなってきました。

今でも、テレビでうつ病、精神疾患等々の特集番組があると、なにも見なくてもよいのに、つい見ていますね。目が行って見ています。

―本田さんの人生にとって電話相談とはどういうものだったでしょうか?

私の中に占める比重はということですか? 30代後半から始めたのですが、若い時期から心身共に下り坂になった時に養成講座の研修内容を見て受けてみようと。人のことより、自分がどう生きていったら良いのかを少し教えて貰ったように思います。講義だけでも良いお勉強になりました。

―今日は、長時間、お話を聞かせていただきまして、ありがとうございました。

本田さんは、インタビューの中では、以前はニュースでいのちの電話が取り上げられることは少なかったけど、最近ではテレビの自殺関連報道の際にいのちの電話の電話番号の表示があり全国的にいのちの電話の知名度が上がったのではと思うが、そのことは同時にボランティアだけれどボランティア活動としての責任があるのではとおっしゃっていました。この本田さんのお話から、私たち相談員一人一人が電話相談を担う責任について考える必要を感じました。

（聞き手：芳野/入江）

香川いのちの電話
「思いつめずに一緒に話そう」
電話相談 087-833-7830
FAX相談 087-861-4343
24時間年中無休

自殺予防いのちの電話
フリーダイヤル 0120-783-556
毎月10日
午前8:00～翌日午前8:00

§ご支援ありがとうございます§

令和2年4月～令和3年3月

香川いのちの電話にご寄付を賜りまして、心より感謝申し上げます。

団　体

※敬称を省略しています

池田内科クリニック
医療法人社団　八幡みやけ内科医院
医療法人社団　ア歯会
延長寺
㈱香川銀行　本店　営業部
スペイン外国人宣教会
㈱ウエイ企画
株式会社　兼子
後藤設備工業㈱
三和エコ＆エナジー㈱
シコク環境ビジネス㈱
社会福祉法人　みくに園
シャロームのつどい
菅原眼科医院
大工町自治会
宅光会
田代法律事務所
たつや耳鼻科
とみおか内科クリニック
日本キリスト教団　高松教会
㈲ユービル企画

個　人

※敬称を省略しています

赤﨑　すみ子　秋山　知子　石田　昭栄　井上　ヒロミ　今滝　則夫　入江　栄子　植村　真知子　上杉　典子　植田　真由美　上村　京子　大上　美智子　岡本　久美子　大熊　利幸　大須賀小百合　太田　明秀
大塚　泰子　大平　美和　奥平　剛　垣内　茂樹　梶　正治　梶　由美　桂　美鈴　川上　敬　木内　将美　菊地　寿美　北濱　雅子　熊田　寿子　黒河内　美鈴　七條　美里　島津　昌代
清水　和美　曽我部　輝子　高木　晴美　高橋　美也子　滝　由紀子　多田　裕美子　多々羅　淑子　田中　暉彦　田中　幸子　田中　良子　玉川　蓮恵　千葉　正子　津川　眞智子　中浦　順一　中原　君子
中村　薫　中川　愛子　名和　詔子　西井　弘生　西岡　治　原　久美子　福家　美津子　藤村　和代　濱　好美　濱野　瞭子　蓮井　孝夫　長谷川　香織　藤川　澄子　藤田　耕正　福家　俊二郎
福本　みゆき　藤井　郁子　藤野　典保　古澤　光子　本田　真知子　増井　武彦　松崎　ミツ子　松村　俊典　眞屋　正明　丸尾　寛　眞鍋　夏海　真鍋　宣子　前場　依子　増田　芳子　松田　美枝子
丸尾　文子　三島　尚武　三谷　清子　三好　美也子　村上　清宣　村上　治　森　雅彦　保井　正明　安岡　恵美子　安本　正貴　矢田　昌子　矢野　真知子　矢野坂　春子　山本　ハルミ　山本　泰江
行成　輝見　芳野　紀子

「いのちの電話」はあなたのご支援を必要としています

いのちの電話の活動は、多くの善意あるボランティアの無償の奉仕によって支えられています。眠らぬダイヤルの施設維持費、相談員研修費、広報活動など、年間800万円の資金が必要となっています。ボランティア活動である「いのちの電話」は、それを支える財政的基盤は大半が市民の、あるいは企業や諸団体からの寄付や、県等の支援金で支えられています。ひとりでも多くの方に資金ボランティアとして関わってくださいますよう、お願い申しあげます。

【寄付金】　金額はご随意です。クリスマス、歳末など折にふれてご協力下さい。

＜振込先＞

社会福祉法人香川いのちの電話協会
理事長　松岡 定幸

《お振込みは下記のいずれかをご利用下さい》

- 香川銀行本店（普）1389129
- 高松信用金庫本店営業部（普）4821464
- 百十四銀行本店（普）1473589
- 郵便振替　01600-5-9348

宮武則明プロフィール（2006.6 より写真提供者）

1941 年高松市生まれ。写真家。著書に「讃岐の町並」他9冊（讃岐写真作家の会刊）「ふるさとを訪ねて」がある。現在「ギャラリーMON」（高松市朝日町）に年2回作品展に出品。「ふれあいえんざ」「香川いのちの電話」などで撮影活動中。高松市円座町在住。

発行所　社会福祉法人 香川いのちの電話協会
〒760-8691　高松市中央郵便局　私書箱 152 号
電話（087）861-7065
E-mail kind@tiara.ocn.ne.jp　HP http://www.kind-kagawa.org/
発行日 令和３年７月
発行人 松岡 定幸　　編集 広報委員会 / 事務局